



## 「笹川杯作文コンクール 2011」～中国語で応募～ 第5回優秀賞作品

### 「日本にも教師の日はある」

湖南省 譚咏

9月10日は、中国の“教師の日”である。高校の国語教師である私は、この日を前にたくさん生徒から祝福のショートメールや電話をもらい、思わず幸せな温かいものが心こみ上げた。しかし、日本には“教師の日”はないと聞き、同業者として日本の先生方は辛いのではと感じた。まさか日本人は教師を尊重し、教育を重視するということを知らないのだろうか。

こうした疑問は、日本へ行って氷解した。

一昨年7月、私の叔父が日本の早稲田大学での学術交流に招待されたのだが、良い機会なので、私も彼に付いて旅行に行った。私にとって、日本の自然風景は憧れなのだが、“旅行”となると、そればかりではない。日本の教育を体験し、心の中にある疑問を解決するというのも今回の旅行の重要な目的の一つだった。

以前、大阪で山本恵子さんという先生に「日本では、何月何日が教師の日ですか。」と真顔で尋ねると、彼女は不思議そうな顔をしてから、日本には教師の日はないと教えてくれた。私は、耳を疑った。経済も文化も進んでいる国なのに、どうして教師のための祝日がないのだろうか。しかし、これで以前に聞いた話が間違いではなかったということが証明された。

山本先生の自宅は学校からちょっと遠かったので、私たちは地下鉄でお宅に向かった。ちょうど退勤ラッシュの時間に差しかかっており、地下鉄は満員で、詰め込まれるように乗車してしばらく立っていると、近くにいたお年寄りが立ち上がって席を譲ってくれた。私の方が若いのに、お年寄りに席を譲ってもらうわけにはいかない。しばらく遠慮していたが、彼は頭を下げながら「どうぞ、どうぞ」と勧めてくれた。誤解されるといけないので、敬意を持って従うことにした。地下鉄を降りてから、あのお年寄りがわざわざ席を譲ってくれたのはなぜなのかと山本先生に尋ねると、彼女は笑いながら私の服についた校章を指さした。「あなたが先生だからですよ。」彼女のこうした説明を聞いて、私は教職の神聖さに熱い感情が自然に湧き起こってくるのを感じた。

私が山本先生にプレゼントを買おうとしたら、彼女は断らず、ほど遠からぬ所に“教師の店”があり、自分が教師であることを証明できれば、全商品がそれぞれ割引になると、私に教えてくれた。彼女が言うには、「日本の人々は教師を大事にするので、教師が自分のお店を愛用してくれることは、商売人にとっても、名誉の一つである。」とのこと。なるほど日本には教師の日はないが、日本人は別の形で教師を敬っていたのだ。

日本滞在中に見聞きしたことなのだが、日本では教師は“三高”、つまり、地位も収入も高い職種なのである。教師は医者、弁護士と並んで尊敬を集める職業で、30年も勤めた教師の月給は、3.3万円を超える。ふだん日本の教師はバスで出勤していて、胸にIDカードを着用しているが、他の乗客はそれを見ると席を譲るのである。日本では地下鉄に教師の席、街に教師の店があり、教師は並ばずに乗車券を買うことができるのだ。公的機関から物品の配給を受ける時でも、教師が優先なのである。

日本人からすると、教師は社会のために巨大な犠牲を払う職業なので、この上なく神聖なものなのである。

神戸市である高校を見学した時、学校としては、教師の優劣をどのように査定しているのかと、私が校長先生に質問すると、そうした問題に遭遇したことがないので、答えよう

がないとのことだった。中国の学校では、学校の教師に対する査定、校長の教員に対する評価が、教員個人にとってかなり重要なものであることを、教師である私は十分に承知している。

日本の学校では、放課後に校門まで迎えに来る父兄の姿は一人も見受けられなかった。子供達も親が迎えに来るという発想はないようであった。しかし、中国では、多くの学校で「ご父兄は、ご遠慮ください」といった警告表示が立ててあっても、放課後には早くから人がごった返し、道路も渋滞する。日本では、児童達の交通安全を守る民間組織“PTA”というものがある。この組織は自発的ながら義務的なものであり、そのメンバーが定期的に安全当番を担当し、児童達の登下校時になると、通学路の要所で児童達を見守るのだ。

日本における教育の様々な手法や社会の教育に対する理解と協力は、私達が考え参考とするに値するものである。こうしたことから考えが及んだのだが、日本の人々が大地震、津波、放射性物質の拡散という大災害に直面した時の冷静さ、秩序、強靭さは、日本の国民教育と緊密に関係しているのである。

短い日本旅行ではあったが、日本人に言いたいことは思い浮かんだ。日本には教師の日こそないが、日本人は非常に教師を敬っていて、しかも、それを実行しているのだ。日本は教師の日を欠いているのではなく、毎日が教師の日なのだとと言えるだろう。